

風害対策について

JA今金 農業経営課
北海道糖業(株) 道南製糖所 原料課

昨年今金町にて発生した強風による被害は大きく、廃耕となった圃場も一部で見られました。また強風は毎年発生しており、てん菜の初期生育に悪影響を与えていると思われます。

防風林等も減少してきているなかで、今後強風の影響はより一層大きくなると考えられるため、下記の対策を参考に今一度風害対策についてご検討いただきたいと思えます。

対策1. 麦類など被覆作物の活用

- (1) 整地前に麦類(えん麦等)を 5kg/10a 全層散播する。
- (2) 麦類が3~4葉期にイネ科対象除草剤を散布する(レナテン等の展着剤を加用)。

対策2. カルチアタッチもりもりの施工

- (1) 播種後速やかにカルチ(カルチアタッチもりもり装着)を施工する。
- (2) 畦上に土塊があがらないよう、速度や深さに注意する。
- (3) カルチマーカ(タバタ農機)を使用することで播種同時施工も可能。

対策3. 狭幅鎮圧輪の活用

- (1) ダブルタイヤのタバタ農機(ローラ駆動軸の両端がナットの機種)・北海農機式の播種機に取付可能。
- (2) 発芽率の向上も見込める。

対策	費用	風害軽減効果	メリット	デメリット
1 被覆作物 (えん麦等)	約 1,500 円 /10a	大	・風害軽減効果が高い	・播種時の作業量が増加する (えん麦散播→播種) ・高コスト ・播種後の除草剤(イネ科)土壌処理 ができなくなる
2 カルチ アタッチ もりもり	37,015 円 /5 枚	中	・低コスト ・播種後施工より効果は劣るが 播種同時施工も可能	・播種時の作業量が増加する (播種→カルチ→除草剤土壌処理)
3 狭幅 鎮圧輪	118,404 円 /4 セット	小	・施工が簡単 (タイヤの取替のみ) ・発芽率の向上も見込める	・風害軽減効果が他対策より低い

※各対策についてはてん菜栽培ガイド19ページもご確認ください。

※ご不明な点などあれば農業経営課または北糖(090-1643-9222)までお問い合わせください。